



【ソフトウェア名称】

AMERICAN IMPULSE

【ソフトの概要】

MetaTrader4 上で動作する、自動売買プログラムです。
MQL4 にて開発しております。

【作者への連絡先】

URL: <http://tondemoronbun.web.fc2.com/>

E-MAIL: darmath1107@yahoo.co.jp

※私がインターネット上で公開しているプログラム類に関する情報の提供は、上記 URL (私の個人サイト) にて行っております。

【取り扱い種別】

ドネーションウェア (フリーウェア (寄付歓迎))

当ソフトウェアは全機能を制限なしにご利用いただけます。

また、寄付につきましては、ベクター社のシェアレジサービスにて受け付けております。

ソフト名称 : AMERICAN IMPULSE / 1 口: 826 円 (手数料及び税込 1000 円 (2017 年 12 月現在))

http://shop.vector.co.jp/service/servlet/NCart.Add?ITEM_NO=SR417360

【動作環境】

WINDOWS XP, VISTA, 7, 8, 8.1, 10

WINDOWS SERVER 2008, 2012

【アンインストール方法】

当該ファイルの削除後、MetaTrader4 を終了することで完了します。

MetaTrader4 のデータフォルダ内の「MQL4\Experts」内にある、当該ファイルを削除して下さい。

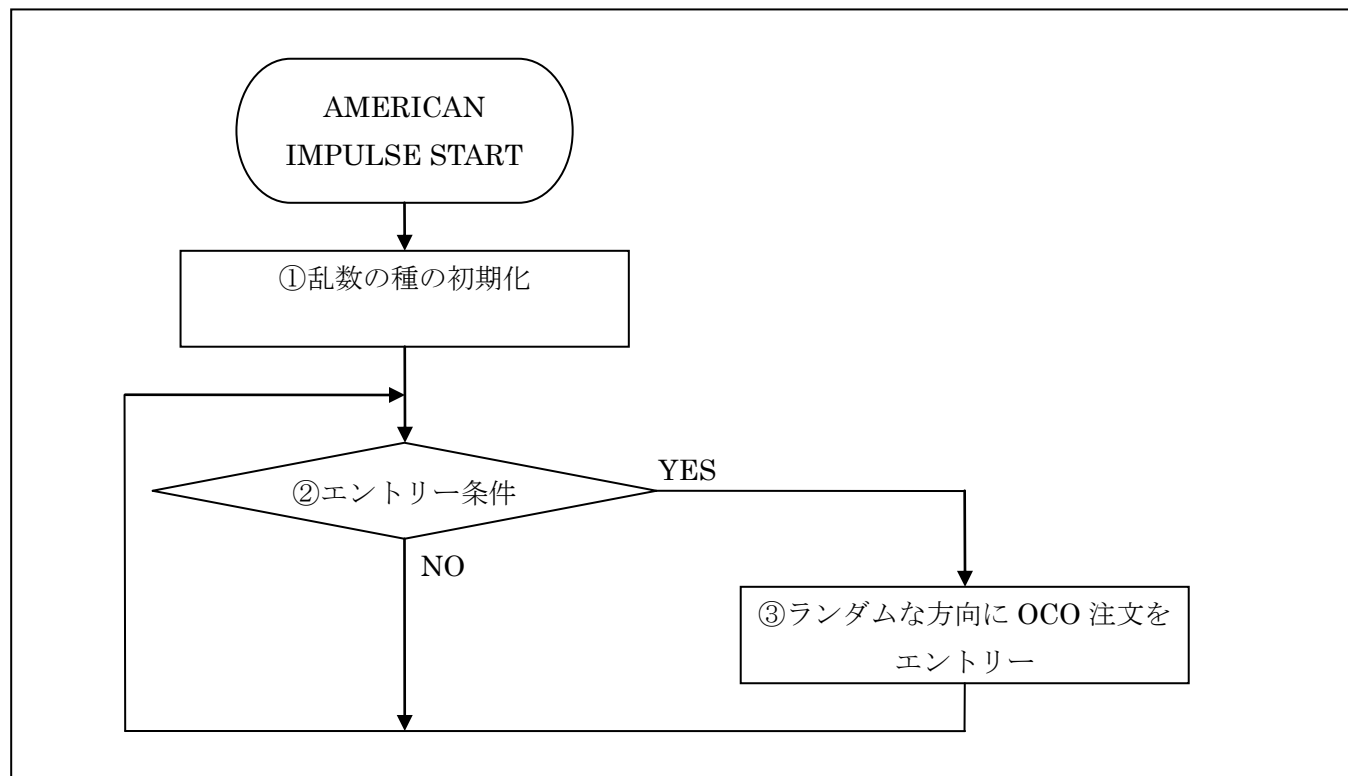
1. 当 EA の仕様について

初めに、当 EA の仕様について説明致します。

「ロジックの概要」、「長期的に利益が見込めるとされる根拠」の順に説明致します。

1.1. ロジックの概要

当 EA のロジックは以下のような流れになっています。



①乱数の種の初期化

乱数の種は、当 EA の起動時の時刻を基に初期化されます。

その為、当 EA の起動時の時刻により、③での売買方向が異なる場合があります。

②エントリー条件

エントリー条件は、当 EA が認識しているポジションを保有していない状態かつ米雇用統計発表前の 1 分間（デフォルト値）である事を満たしている状態です。

なお、米雇用統計の発表は 4～10 月は毎月第一週の金曜日の日本時間 21:30 であり、11～3 月は毎月第一週の金曜日の日本時間 22:30 となっております。

③ランダムな方向に OCO 注文をエントリー

疑似乱数を生成し、ランダムに売買方向を決定し、OCO 注文をエントリーします。

エントリーに失敗した場合、②の条件を満たしている間は、エントリーを試みます。

1.2. 長期的に利益が見込めると思われる根拠

当 EA は「大数の法則」という数学的法則に基づいた理論により、長期的に損益がプラスになる傾向を維持しています。

「大数の法則」とは、例えばサイコロを投げて 1 の目が出る割合を実験的試行により求める際、一時的には 1 の目が連続して何度も現れる可能性もありますが、その試行を、数十回、数百回と回数を重ねる毎に、その割合は $1/6$ に収束していきます。

当 EA に於いても、この「大数の法則」の考え方を採用しており、米雇用統計発表時には、急激に数十 pips 相場が上がるか、若しくは下がるかという現象が発生する傾向にこの法則を適用します。

例えば、米雇用統計の発表により、 $1/2$ の確率で 40 pips 上昇し、 $1/2$ の確率で 40 pips 下落すると仮定します。ここで、米雇用統計の発表直前にどちらかの売買方向に TAKE PROFIT を 40 pips、STOP LOSS を -20 pips に設定してOCO 注文をエントリーしておく事により、 $1/2$ の確率で 40 pips の利益が得られ、 $1/2$ の確率で 20 pips の損失が発生する事になります。すると、1 トレード当りの期待値は +20 pips となり、この試行を繰り返すにつれ、「 $20 \text{ pips} \times \text{トレード回数}$ 」の利益が見込める事になります。

以上が、当 EA により長期的に利益が見込める根拠になります。但し、米雇用統計は月に 1 回しか無い為、トレードチャンスが少ない事が難点でもあります。

また、1 ティックで設定された STOP LOSS を大幅に上回る値動きが発生した場合等は、想定を超える損失が発生する可能性もあります。

2. 使用方法について

次に、当 EA の使用方法について説明致します。

「EA のインストール方法」、「運用方法」の順に説明致します。

※注意

当バージョンでは EA のバックテストが利用不可能になりました。

バックテストが利用不可能になった理由は、当バージョンからは時差の自動補正機能が搭載された事により、正常にバックテストが行えなくなったためです。

バックテスト専用 EA もリリースした方が無難かとも思いましたが、この EA は値動きのみならずスプレッドに関しても非常に目まぐるしく変動する米雇用統計時の動作を目的として開発されたため、そもそもバックテストの精度も非常に低下すると考えられるため、ナンセンスだろうと考え、自動補正機能が搭載された EA1 本のためのリリースとしました。

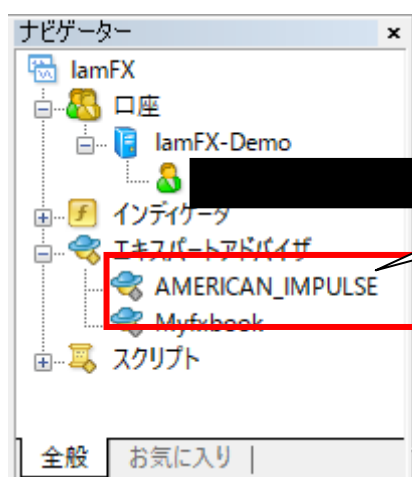
2.1. EA のインストール方法

インストールするには、MT4 を起動し、ファイル(F)→データフォルダを開く(D)の順にクリックします。

そこで表示されるエクスプローラーから、MQL4→Experts の順に選択します。

そこで表示された Experts フォルダ内に、「AMERICAN_IMPULSE.ex4」をコピーします。

最後に MT4 を再起動すればインストールは完了です。



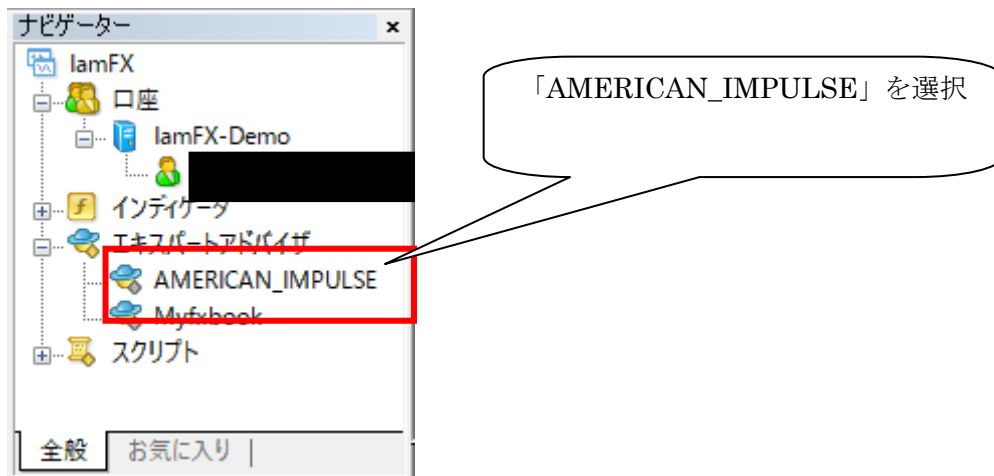
MT4 再起動後に上記 EA がナビゲーターに表示されている事を確認して下さい。

2.2. 運用方法

実際に運用する方法について説明致します。

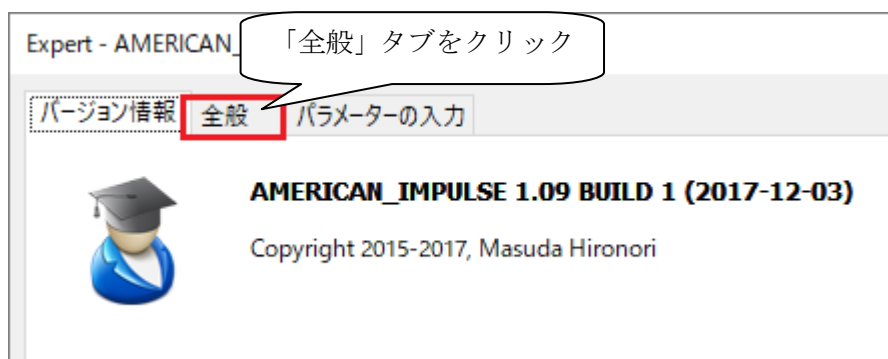
まず、運用したい通貨ペアのチャートを表示します。時間足の指定はありません。

次に、設定したい通貨ペアのチャートをアクティブにした状態で、EA をナビゲーターからダブルクリックして選択します。



EA をダブルクリックで選択すると、以下のようなウィンドウが表示されます。

「全般」タブをクリックして下さい。



以下のような画面が表示されます。

「自動売買を許可する」にチェックを入れたあと、「パラメーターの入力」タブをクリックして下さい。

Expert - AMERICAN_IMPULSE

バージョン情報 全般 **パラメーターの入力**

コモン

Long & Short ▼ ポジション

☒ アラームを有効化

☐ 1回鳴ったらアラームを消す

自動売買

☒ 自動売買を許可する

以下のような画面が表示されます。

以下の説明を参考に、パラメーターを設定して下さい。

Expert - AMERICAN_IMPULSE

バージョン情報 全般 **パラメーターの入力**

変数	値
MAGIC	626609451
LOT_SIZE	0.01
TP_LIMIT_PIPS	30.0
SL_LIMIT_PIPS	20.0
SPREAD_LIMIT_PIPS	8.0
SLIPPAGE_LIMIT_PIPS	3
ENTRY_ON_BOOT	false
SUMMER_TIME_START_MONTH	4
SUMMER_TIME_END_MONTH	10
ENTRY START TIME MARGIN MINUTES	1

OK キャンセル

変数名	説明
MAGIC	<p>他のチャートに設定した EA と重複しない、一意な値に設定して下さい。</p> <p>他の EA とポートフォリオを組んでいない場合は、特に意識する必要はありません。</p>
LOT_SIZE	ポジションに設定するロットサイズを意味しています。
TP_LIMIT_PIPS	<p>ポジションに設定する利食いの値幅を意味しています。</p> <p>PIPS 単位で指定して使用します。</p>
SL_LIMIT_PIPS	<p>ポジションに設定する利食いの値幅を意味しています。</p> <p>PIPS 単位で指定して使用します。</p>
SPREAD_LIMIT_PIPS	<p>ポジションエントリー時に許容するスプレッドを指定します。</p> <p>PIPS 単位で指定して使用し、当該値幅以上のスプレッドの発生が検出されている場合には、ポジションのエントリー処理が行われません。</p>
SLIPPAGE_LIMIT_PIPS	<p>ポジションエントリー時に許容するスリッページを指定します。</p> <p>PIPS 単位で指定して使用し、当該値幅以上のスリッページが発生していた場合は、ポジションのエントリーがブローカー側の基準に基づき成立しません。</p>
ENTRY_ON_BOOT	この変数の値が「true」だった場合、指定された時間を待たずして、EA 起動時にエントリー処理が発動します。
SUMMER_TIME_START_MONTH	<p>夏時間が始まる月を指定して下さい。</p> <p>夏時間ではない月は冬時間として処理されます。</p> <p>1～12[月]の範囲で指定して下さい。</p>
SUMMER_TIME_END_MONTH	<p>夏時間が終わる月を指定して下さい。</p> <p>夏時間ではない月は冬時間として処理されます。</p> <p>1～12[月]の範囲で指定して下さい。</p>
ENTRY_START_TIME_MARGIN_MINUTES	指定された時刻(デフォルトでは米雇用統計の指標発表時)の何分前からエントリー処理を開始するのかを分単位で指定します。
DATE_ADJUSTMENT	この変数の値が「true」だった場合、先月の 12 日が存在する週を終えた次の週から起算して当月第 1 金曜日が 3 週間目ではない場合、下記「SUMMER_TIME_ENTRY_WEEK」「WINTER_TIME_ENTRY_WEEK」に 1 加算された結果で動作します。(デフォルト値の場合、先月の 12 日が存在する週を終えた次の週から起算して当月第一金曜日が 3 週間目ではない場合、当月第 2 金曜日がエントリー対象日となります。)
SUMMER_TIME_ENTRY_WEEK	夏時間と判断されている月の第何週にエントリー処理を行うのかを指定します。

	1[週目]以上の値で指定して下さい。
SUMMER_TIME_ENTRY_DAY_OF_THE_WEEK	<p>夏時間と判断されている月の何曜日にエントリー処理を行うのかを指定して下さい。</p> <p>0 を日曜日, 1 を月曜日, 2 を火曜日, 3 を水曜日, 4 を木曜日, 5 金を曜日, 6 を土曜日として指定して下さい。</p>
SUMMER_TIME_ENTRY_HOUR	<p>夏時間と判断されている月の何時にエントリー処理を行うのかを指定して下さい。</p> <p>0～23[時]の範囲で指定して下さい。</p> <p>なお, この時間は, ブローカーの時刻では無く, 運用に使用するマシンの内部時計の時刻を基準に指定します。</p>
SUMMER_TIME_ENTRY_MINUTES	<p>夏時間と判断されている月の何分にエントリー処理を行うのかを指定して下さい。</p> <p>0～59[分]の範囲で指定して下さい。</p> <p>なお, この時間は, ブローカーの時刻では無く, 運用に使用するマシンの内部時計の時刻を基準に指定します。</p> <p>但し, 米雇用統計発表時には, 秒単位の精度が要求されるケースが殆どであるため, 時差の補正は 30 分を単位時間としたブローカー側の時間として認識されます。(例えば, ブローカー側と運用に使用するマシンの内部時計に 10 秒の狂いがあったとしても, ブローカー側の時計が正しいものとして処理されます。)</p>
WINTER_TIME_ENTRY_WEEK	<p>冬時間と判断されている月の第何週にエントリー処理を行うのかを指定します。</p> <p>1[週目]以上の値で指定して下さい。</p>
WINTER_TIME_ENTRY_DAY_OF_THE_WEEK	<p>冬時間と判断されている月の何曜日にエントリー処理を行うのかを指定して下さい。</p> <p>0 を日曜日, 1 を月曜日, 2 を火曜日, 3 を水曜日, 4 を木曜日, 5 金を曜日, 6 を土曜日として指定して下さい。</p>
WINTER_TIME_ENTRY_HOUR	<p>冬時間と判断されている月の何時にエントリー処理を行うのかを指定して下さい。</p> <p>0～23[時]の範囲で指定して下さい。</p> <p>なお, この時間は, ブローカーの時刻では無く, 運用に使用するマシンの内部時計の時刻を基準に指定します。</p>
WINTER_TIME_ENTRY_MINUTES	<p>冬時間と判断されている月の何分にエントリー処理を行うのかを指定して下さい。</p> <p>0～59[分]の範囲で指定して下さい。</p> <p>なお, この時間は, ブローカーの時刻では無く, 運用に使用するマシンの内部時計の時刻を基準に指定します。</p> <p>但し, 米雇用統計発表時には, 秒単位の精度が要求されるケースが殆どであるため, 時差の補正は 30 分を単位時間としたブローカー側の時間として認識されます。(例えば, ブローカー側と運用に使用するマシンの内部時計に 10 秒の狂いがあったとしても, ブローカー側</p>

	の時計が正しいものとして処理されます。)
ENTRY_DATE_TIME_MANUALLY	この変数の値が「true」だった場合、夏時間であるかどうかの如何に関わらず、「MANUALLY_ENTRY_MONTH」「MANUALLY_ENTRY_DATE」「MANUALLY_ENTRY_HOUR」「MANUALLY_ENTRY_MINUTES」で指定された日時にポジションのエントリー処理を試みます。
MANUALLY_ENTRY_MONTH	「ENTRY_DATE_TIME_MANUALLY」が「true」だった場合、この変数で指定された月にエントリー処理を試みます。 1～12[月]の範囲で指定して下さい。
MANUALLY_ENTRY_DATE	「ENTRY_DATE_TIME_MANUALLY」が「true」だった場合、この変数で指定された日にエントリー処理を試みます。 1～31[日] の範囲で指定して下さい。
MANUALLY_ENTRY_HOUR	「ENTRY_DATE_TIME_MANUALLY」が「true」だった場合、この変数で指定された時間にエントリー処理を試みます。 0～23[時]の範囲で指定して下さい。
MANUALLY_ENTRY_MINUTES	「ENTRY_DATE_TIME_MANUALLY」が「true」だった場合、この変数で指定された分にエントリー処理を試みます。 0～59[分]の範囲で指定して下さい。

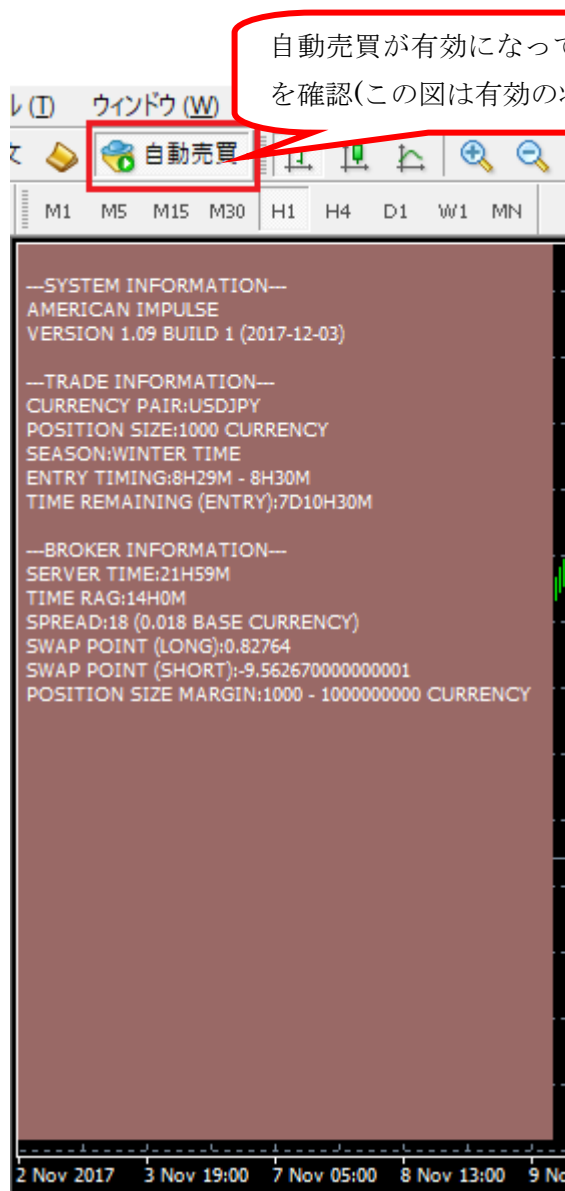
※注意

「ENTRY_DATE_TIME_MANUALLY」が「false」である場合、エントリー時刻を夏時間から冬時間への切り替えが行われる月(若しくは、冬時間から夏時間への切り替えが行われる月)の1日の0時00にエントリー時刻を指定した場合に、ポジションのエントリーは行われませんが、そもそも、当該変数には米雇用統計発表時の時刻を指定する趣旨のものであるため、このような問題を回避するための作り込みは行われておりません。(理由は、日本向けのEAであるため、影響は無いと考えている事が一点と、ロジックの単純化による動作の安定化を見込む為であり、どうしても変則的な日時にエントリーを行いたい場合は、

「ENTRY_DATE_TIME_MANUALLY」を「true」に設定し、「MANUALLY_ENTRY_MONTH」「MANUALLY_ENTRY_DATE」「MANUALLY_ENTRY_HOUR」「MANUALLY_ENTRY_MINUTES」にエントリーを希望する日時を指定して下さい。)

以下のようにチャートに表示されたら設定完了です。

なお、自動売買が有効になっていない場合は「自動売買」ボタンをクリックして有効にしてください。



当 EA の使用方法は以上になります。

※注意事項

TIME REMAINING に関しましては、現時点では、米雇用統計が発表される月にならなくては、正常に表示されない可能性があります。

取り急ぎ、取引処理に於いて正常に動作する程度にバグフィックスしたものが当バージョンですが、今後のバージョンアップで修正するかもしれません。

3. 最後に

#1

FXにはリスクが伴います.

当 EA は利益を保証するものではありません.

当 EA の使用はご自身での判断でご自身の責任の上でご使用を検討してください.

#2

当 EA の開発に当たっては注意を払ってコーディングしていると自負はしておりますが, 不具合を含んでいる可能性を完全には否定出来ません.

不具合の可能性を含め, 当 EA の使用による損失に関して, 私は一切責任を持てませんので, ご自身の責任の上でご使用を検討してください.

不具合報告を頂ければ, 不具合と確認された場合, 可能なら修正版をリリースしたいと考えている所存です.

不具合報告はメールにて御一報頂ければと思います.

#3

当ソフトウェアは「ドネーションウェア(フリーウェア(寄付歓迎))」です.

寄付を募った理由は, 当ソフトウェアの継続的なバージョンアップには, 研究費を要しているためです.

当ソフトウェアは全機能を制限なしにご利用いただけますが, 寄付にご協力出来る方がいらっしゃいましたら, 寄付をお願い致します.

寄付につきましては, ベクター社のシェアレジサービスにて受け付けております.

ソフト名称 : AMERICAN IMPULSE / 1 口:826 円 (手数料及び税込 1000 円 (2017 年 12 月現在))

http://shop.vector.co.jp/service/servlet/NCart.Add?ITEM_NO=SR417360

Copyright: Masuda Hironori

URL: <http://tandemoronbun.web.fc2.com/index.html>

Mail: darmath1107@yahoo.co.jp